

# アグアスだより

2015年9月号

## 子どもたちの実態に基づいて

本校では児童生徒の実態を把握するために、様々な調査を行っています。その結果から学校・学年・個人の課題を把握して、教師が子どもの長所を伸ばし、弱点を克服するための資料にしています。以下、それらの調査について、「学力」「知能」「体力」「生活」「QU」の順に説明しましょう。

### 1 学力検査

NRT 学力検査と CRT 学力検査を、それぞれ4月と1月に実施しています。NRTは小1以外の小学部・中学部全学年、CRTは、小学部が対象になっています。NRTは、個々の子どもの学力を、集団と比較して相対的に評価し、個人間の差を明らかにします。一方、CRTは集団とは関係なく、教科の目標基準に照らして、個々の子どもが目標を達成しているかどうかで評価します。どちらの学力検査も、共通するところもありますが、「子どもの学力の診断」という点では、両者はかなり異なっています。NRTは個人と集団を比較する検査ですから、診断は集団内における個人の学力の位置によって示されます。それに対して CRT での診断は、教科の観点の基準をどれくらい達成しているか、という数値で示されます。それぞれに特徴があり、本校では両者を併用することで、より子どもの学力の実態にせまるようにしています。

### 2 知能検査

本校では小2、小5、中1で行われています。生活年齢に見合った発達をしているかどうか、基礎能力が身についているかどうか、ということを知ることができます。したがって、NRTと

の相関から、「十分がんばっている」「やればもっとできる」などの診断をすることもできます。また、知能の量的傾向だけでなく、創造性や思考力など、知能の質的特性もとらえることができます。ただし、「知能」や「IQ」といった概念は、あくまでも観察する側が構成したもので、いわゆる一般的にいわれる言葉としての「知能」そのものを意味しません。調査結果は、主として教師が指導の参考にするための補助資料として用いられます。

### 3 体力調査(新体力テスト)

文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするために、毎年実施している調査です。テスト項目は年齢区分により異なり、新体力テストにチャレンジすることで、筋力(握力)・敏捷性(反復横とび)・跳躍力(立ち幅とび)・柔軟性(長座体前屈)・筋持久力(上体起こし)・全身持久力(20mシャトルラン)を測定し、自分の体力・運動能力が確認できます。種目ごと・年齢区分ごとの全国平均値は文部科学省のHPに公開されているので、学校単位の比較も容易です。

### 4 生活調査

某出版社の「生活実態調査」を実施し、日本の子どもたちと本校の子どもたちの調査結果を比較しています。両者に大きく異なる点があれば、在外での環境や学校での生活が影響を与えている可能性があります。昨年は、小4～中3の子たちの「熱中体験」の少なさや、夜10時30分以降に寝る子の睡眠不足の問題が明らかになりました。

## 5 Q-U 検査

今年度から実施することになった調査です。日本では「いじめ」の予防等に用いられています。子どもたちの学級生活の満足度と意欲、学級集団内での状態が良好かどうかを、「学級満足度」「学校生活意欲」の2つの心理テストで測定します。標準化された調査ですので、基準値と比較することで、問題傾向を発見することができます。この調査により、教師は子どもたちを理解し、対応の方法・学級集団内の状態などを把握し、今後の学級経営の方針を立てることができます。調査結果は、子どもたちの状況が、座標軸上にプロットされて表示されます。SOSゾーンに入った子は早期に指導が必要とみなされます。結果は残念ながら外部には非公開です。

「敵を知り、己を知らば、百戦危うからず」といいます。同様に、子どもを知り、課題をつかむことができれば、教師や保護者の指導によってこれ以上強い味方はありません。本校は、今後とも、子どもの実態把握、課題の明確化に努め、子どもたちの力を総合的に「分析・診断・処方・治療」することで、「知徳体」調和のとれた「生きる力」の育成を図っていく考えです。

(校長 大越邦生)

### 子どもたちがつまずいたとき

落ち着きがなく、集中できない子。

片付けができず、忘れ物ばかりする子。

子どもたちと向き合っていると、日々悩みはたえません。私は、クラスの子どもたちがつまずいたときは、それまでの自分のかかわり方や教え方を見直すチャンスだと考えるようにしています。子どもたちは一生懸命やろうと頑張っているのに、どうしたらできるようになるのかと、子どもたちと一緒に考えるよう

にしています。

例えば落ち着きがない子は、不安やストレスを感じているのかもしれませんが。プリントの字が小さすぎたり、何かの音が鳴っていたり、その子にとって集中を妨げる学習環境になっているのかもしれません。

片付けができない子は、どこに何を入れればいいのか分からないののかもしれません。箱や棚にラベルを貼る工夫や、入れ方の見本を写真で示しておく工夫が考えられます。注意が散漫な子は、「よし、やるぞ!」と思っけていても、途中で興味のあるものを見つけると、何をしていたのか忘れてしまうことがあります。近くで見守っていて、声をかけてあげることも大切です。

乳児はしっかり肌を離すな

幼児は肌を離せ、手を離すな

少年は手を離せ、目を離すな

青年は目を離せ、心を離すな

と言うものです。

お子さんが何かにつまずいたとき、「なんでこんなこともできないの?」と叱らないでください。お子さんが成長するチャンスかもしれません。(特別支援教育担当 平野 梓)

### 9月行事予定

9月2日(水)	委員会・クラブ
4日(金)	ファイターズ
5日(土)	実力テスト(中3)
7日(月)	カレーの日
9日(水)	クラブ
13日(日)	創立記念日(33周年)
14日(月)・15日(火)	日産の休暇に伴う臨時休業
16日(水)	独立記念日(祝日)
18日(金)	ファイターズ(がんばる会)
21日(月)	豚井の日・読み聞かせ
23日(水)	クラブ、転入説明会
24日(木)	運動会予行
25日(金)	運動会準備
27日(日)	運動会
	(※雨天時延期、通常授業)
29日(火)	運動会片付け(1校時)
30日(水)	クラブ、補充指導開始(中2・中3)、転入説明会